

部品交換要領書

スチール玄関ドア用 面付型握り玉錠

HHW12-085
2014年10月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

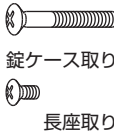
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

面付型握り玉錠	取付ねじ	交換要領書
HH-2K-10010(11)  握り玉錠：1式 小力ギ：3個	 錠ケース取り付け用：4本 長座取り付け用：2本	 本書 1枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

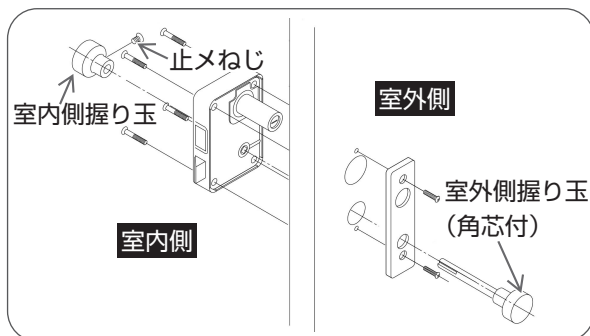
プラスドライバー
  1本

部品の取りはずし方

お願い

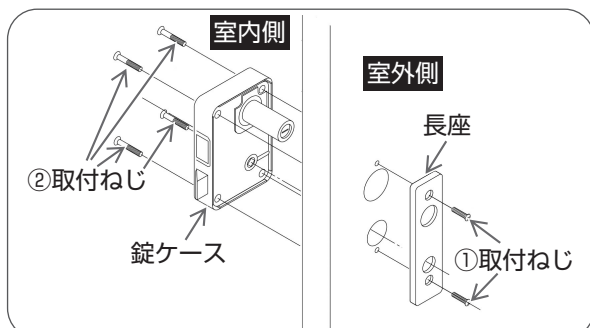
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 握り玉の取りはずし



プラスドライバーで室内側握り玉の止メねじをはずし、室内側握り玉および室外側握り玉をはずす。
※室内側握り玉をはずすと室外側握り玉がはずれます。落下にご注意ください。

2 長座・錠ケースの取りはずし



- ① 室外側よりプラスドライバーで長座の取付ねじをはずし、長座をはずす。
- ② 室内側よりプラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。
※錠ケース取付ねじをはずすと、錠ケースがはずれます。落下にご注意ください。

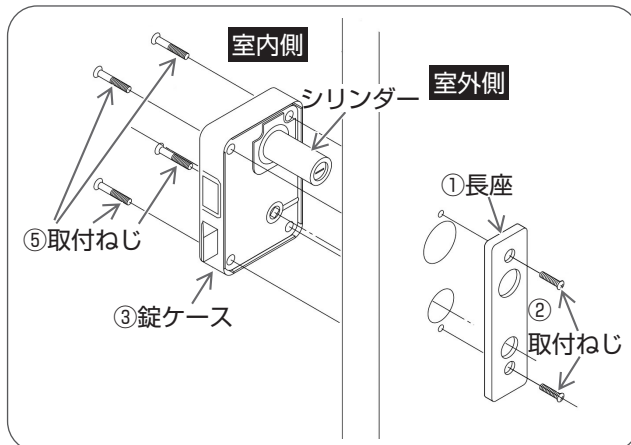
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

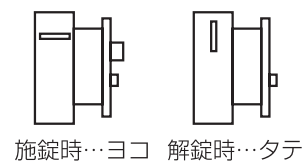
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 長座・錠ケースの仮止め



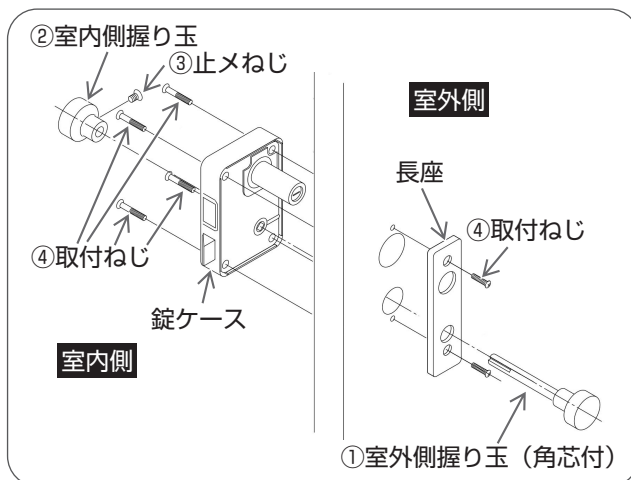
- ① 室外側より長座を取付穴に合わせる。
- ② プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
- ③ 室内側より錠ケースのシリンダーを長座の穴に差し込む。
- ④ 室内側錠ケースのサムターンツマミを施錠状態に合わせてセットする。

サムターンツマミの正しい状態



- ⑤ プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。

2 握り玉と長座・錠ケースの取り付け



- ① 室外側より室外側握り玉(角芯付)を錠ケースの角穴に合わせて差し込む。
- ② 室内側握り玉を室外側握り玉の角芯に差し込む。
- ③ プラスドライバーで止メねじを仮止めする。
- ④ 握り玉を数回まわし、動きのよいところで長座や錠ケースの取付ねじ及び握り玉止メねじをプラスドライバーでしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 握り玉を回わしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は 1 ページをご覧ください。